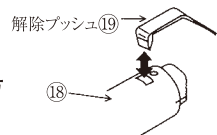


- ① 錠の取付**
1.  $\phi 24$ リング前②後④を錠②にセットしてください。  
④は錠②の先端まできっちりはめこみ、④は錠②の後部にセットしてください。
  2. フロント板①[KODAI 刻印]にラッチブッシュ⑬を取り付けてください。
  3. 扉勝手は、フロント板①をはずし錠②のラッチボルト③を廻して合わせてください。
  4. 錠②を矢印④を上向きにして、扉加工部に差し込みます。
  5. 錠②とフロント板①をあわせて、固定ねじ⑤(L=20) 2本を取り付けます。
- ② W座取付**
- ※ 扉の切り欠き穴が補強座⑨⑬で隠れない場合は、飾りプレート⑧を扉と補強座⑨⑬の間に挟んで取り付けてください。
1. 表示、間仕切錠の場合は、錠②のカム穴⑥にロックバー⑦(適正扉厚のバー)を図のように差し込みます。飾りプレート⑧使用時は、取り付ける扉の厚さ+飾りプレートの厚さ(3mm)が取付扉厚となります。ロックバー⑦の扉厚刻印を確認して取り付けてください。
  2. 補強座⑨凹脚側の脚部を錠ガイド穴⑩に差し込みます。  
(表示、間仕切錠の場合、キーブラグ溝⑪は縦にしてください)
- ※ レバー⑫を仮セットし、錠②が正常に作動することを確認してください。
3. 補強座⑨凸脚部側の脚部を凹脚穴へ差し込みます。  
(表示、間仕切錠の場合、サムターンツマミ⑭は下向きにしてください)
  4. 補強座⑨⑬を固定ねじ⑮ 4本で取り付けます。
  5. W座カバー⑯⑰を補強座⑨⑬にはめこんでください。
- ③ レバーハンドルの取付**
1. 角芯棒付レバーハンドル⑫を図の様に差し込み、室内側レバーハンドル⑮を取り付け完了です。
- ※ レバーハンドルを取り付ける際、強く押し付けすぎると作動不良の原因となります。ご注意ください。レバーハンドルを強く締め付けすぎた場合は、解除ブッシュ⑱を室内側レバーハンドル⑮の下穴に差し込みゆるめてください。



- ④ ワンタッチレバーハンドルのはずし方**
- 解除ブッシュ⑱を左図のように、室内側レバーハンドル⑮の下側の穴に差し込んだ状態で、角芯棒付レバーハンドル⑫を抜き取ります。

**注意** ！ 枠側(両開き扉の場合は片方の扉)に取付いている受座のリップ①の飛び出しが大きい場合には身体を傷つけたり衣服を引っ掛けるおそれがあります。適正な受座に取り替えてください。

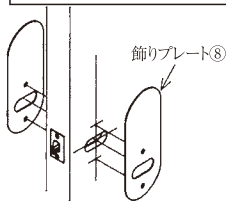
# re series

— W座/小判座対応(飾りプレートつき) —

空錠・間仕切錠・表示錠

(切欠き穴 $\phi 24$ )

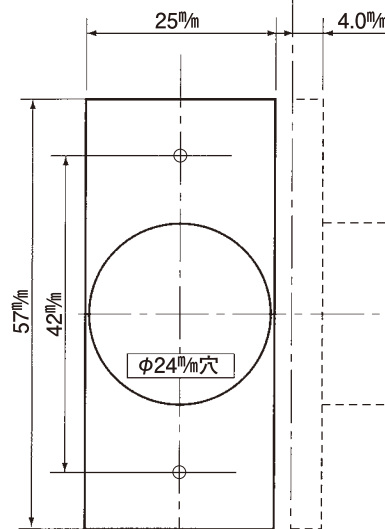
**注意** ！ 扉の切り欠きが補強座⑨⑬で隠れない場合は、飾りプレート⑧をお使い下さい。品番末尾“P”の商品に同梱しています。



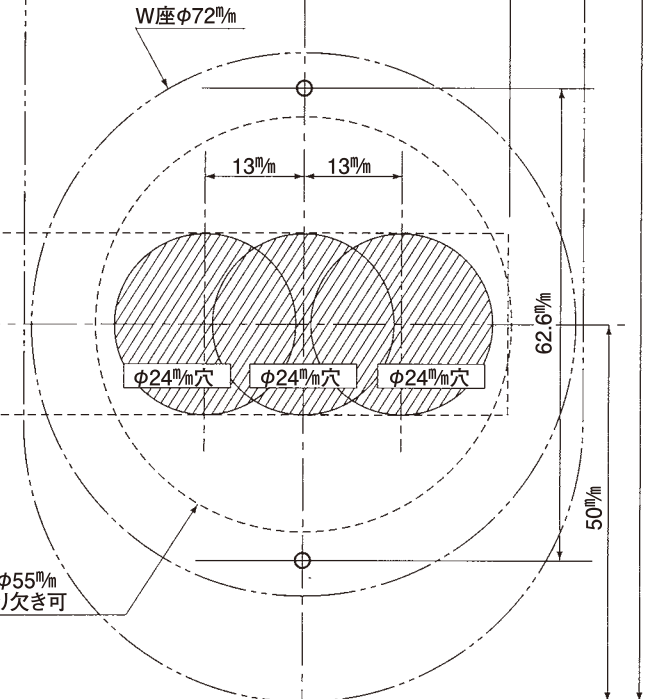
バックセット 60mm

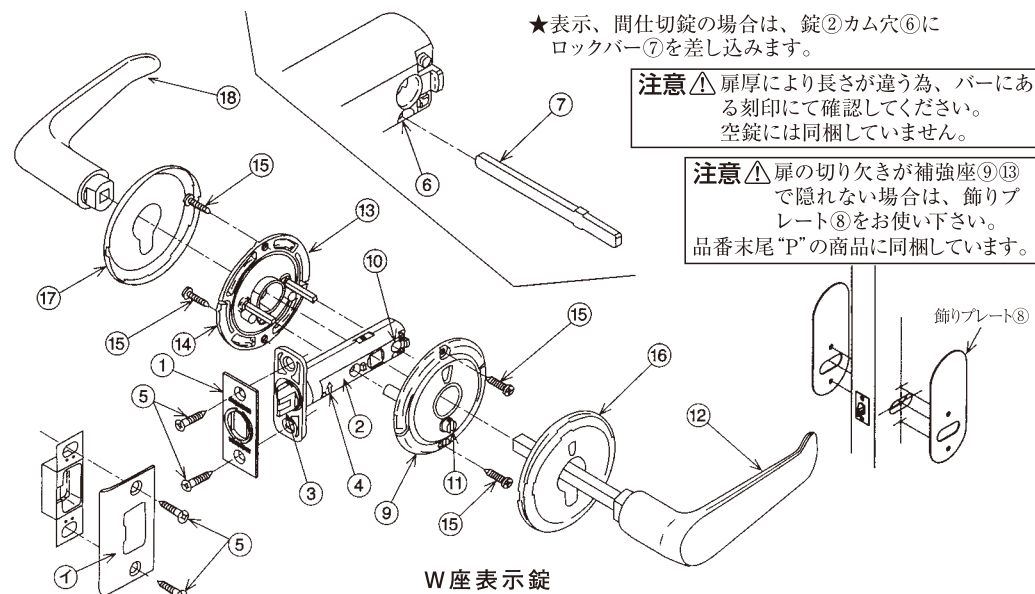
彫込深さ87mm

(バックセット51mm 時、彫込深さ78mm)  
(バックセット51mmは戸当たりに注意してください)



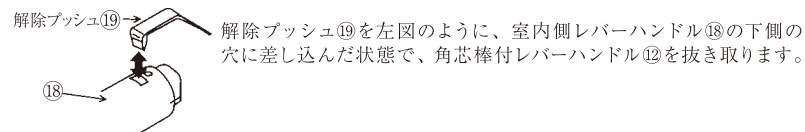
W座は $\phi 55$ mm  
まで切り欠き可





**注意** △ 枠側(両開き扉の場合は片方の扉)に取付いている受座のリップ①の飛び出しが大きい場合には身体を傷つけたり衣服を引っ掛けるおそれがあります。適正な受座に取り替えてください。

- ④ 錠の取付**
1. 扉勝手は、フロント版①をはずし、錠②のラッチボルト③を廻して合わせてください。
  2. 錠②を矢印④を上向きにして、扉加工部に差し込みます。
  3. 錠②とフロント板①[NAGASAWA 刻印]をあわせて、固定ねじ⑤(L=20) 2本を取り付けます。
- ⑤ W座取付**
- ※ 扉の切り欠き穴が補強座⑨⑬で隠れない場合は、飾りプレート⑧を扉と補強座⑨⑬の間に挟んで取り付けてください。
1. 表示、間仕切錠の場合は、錠②のカム穴⑥にロックバー⑦(適正扉厚のバー)を図のように差し込みます。飾りプレート⑧使用時は、取り付ける扉の厚さ+飾りプレートの厚さ(3mm)が取付扉厚となります。ロックバー⑦の扉厚刻印を確認して取り付けてください。
  2. 補強座⑨凹脚側の脚部を錠ガイド穴⑩に差し込みます。  
(表示、間仕切錠の場合、キーブラグ溝⑪は縦にしてください)
- ※ レバー⑫を仮セットし、錠②が正常に作動することを確認してください。
3. 補強座⑬凸脚部側の脚部を凹脚穴へ差し込みます。  
(表示、間仕切錠の場合、サムターンツマミ⑭は下向きにしてください)
  4. 補強座⑨⑬を固定ねじ⑮ 4本で取り付けます。
  5. W座カバー⑯⑰を補強座⑨⑬にはめこんでください。
- ⑥ レバーハンドルの取付**
1. 角芯棒付レバーハンドル⑫を図の様に差し込み、室内側レバーハンドル⑮を取り付け完了です。
- ※ レバーハンドルを取り付ける際、強く押し付けすぎると作動不良の原因となります。ご注意ください。レバーハンドルを強く締め付けすぎた場合は、解除プッシュ⑱を室内側レバーハンドル⑮の下穴に差し込みゆるめてください。
- ⑦ ワンタッチレバーハンドルのはずし方**
- 解除プッシュ⑱
- 



# Re series

—W座/小判座対応(飾りプレートつき)—

空錠・間仕切錠・表示錠

(切欠き穴φ21)

